



2010 BUSINESS REPORT
第35期中間報告書

平成21年12月1日～平成22年5月31日

ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

CONTENTS

| | |
|-----------|-----|
| 株主の皆さまへ | 2 |
| 連結営業の概況 | 3 |
| 連結業績ハイライト | 4 |
| 連結財務諸表 | 5・6 |
| トピックス | 7・8 |
| 会社の概要 | 9 |
| 株式の状況 | 10 |

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに当社第35期第2四半期連結累計期間（平成21年12月1日から平成22年5月31日まで）の営業の概要をご報告申し上げます。

世界経済は欧州の金融不安などで混乱が残るものの、アジアなど新興国の経済成長に支えられ、景気は緩やかな回復基調にあります。日本では低迷する個人消費と厳しい雇用情勢にまだ顕著な改善は見られていませんが、設備投資に一部持ち直しが見られ企業収益に改善の様相が見え始めてきました。当社グループは前連結会計年度において厳しい局面を迎えましたが、2010年3月からスタートした新中期経営計画において3つの課題を掲げ、早期の業績回復を目指しています。国内においては、「経営リソースの再配分の推進による成長軌道への回帰」のもと、今後成長が見込める分野に経営資源を集中させるとともに、その他の分野では、オペレーションの効率化・最適化を図る取り組みを行っています。海外においては、成長市場の中国やインドネシアで展開するプリフォーム製造事業では、飲料市場の高い成長率に即応し「適切な設備投資と着実な成長」を実現していきます。さらに、経営システムや財務体質の健全性と効率化を念頭に、「組織改革と業務改革」によって固定費と不要不急の経費の削減を推進し、コスト構造の見直しを含む業務効率化の推進に取り組んでまいります。

※ 利益ある成長を実現する海外事業の拡大

当社グループは、新興国など大きな伸長が期待される市場でコスト競争力を高め、事業拡大を加速します。特にアジアにおいては、設備、製造ライン等各種産業機械の輸入、販売を行う愛而泰可貿易（上海）有限公司（中国現地法人）、ALTECH ASIA PACIFIC CO., LTD.（タイ現地法人）を戦略的販売拠点と位置付け、機能を強化します。また、プリフォームの安定生産体制を確立した蘇州・広州・深圳・インドネシアの海外4現地法人7工場は、相互に密接な連携をとりながらプリフォームのさらなる販路拡大及び用途拡大を目指します。

※ 次世代を担う新分野への挑戦

今後、経済のグローバル化によるコミュニケーションの即時化や新興国での人口増加、エネルギーセキュリティや地球温暖化など、さまざまな地球規模での課題・潮流が発生することが想定されます。当社グループは、商社・メーカー双方の複合的な機能を有することを強みとして、これらのメガトレンドのなかで生じる多様なニーズに対応してまいります。

特に、自動車部品軽量化関連機器・環境関連機器・太陽光発電関連機器等、市場ニーズが高い分野を戦略分野と位置付け、次の時代をつくる新たな分野にチャレンジします。

当社グループは国内外において、これからも「お客様の声に耳を傾け、最適なソリューションを提供する」という当社グループのポリシーを粘り強く推進しつづけるとともに、常に新たな領域の開拓に挑戦し、お客様の発展に尽くします。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きのご支援・ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成22年8月
代表取締役社長 張能 徳博

連結営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国経済の回復を背景にした輸出・生産の持ち直しの動きや設備投資に下げどまりの様相がみられる一方で、デフレの進行や厳しい雇用情勢などに改善が見られず、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループは国内の主力事業である卸売事業においては、経営リソース再配分の推進により持続的な成長を図るべく事業の構造改革を行っておりますが、長引く景気の低迷を受け、全般的に厳しい状況が続きました。一方、海外の主力事業である製造事業については、中国をはじめとするアジア新興国経済の持ち直しにより、飲料用等のプリフォームの販売が堅調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,732百万円（前年同四半期比8.1%減）、営業損益は232百万円の利益（前年同四半期は20百万円の利益）、経常損益は331百万円の利益（前年同四半期は142百万円の損失）、四半期純損益は224百万円の利益（前年同四半期は968百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの卸売事業においては、得意先の予算確定時期の関係で毎年2月から6月にかけて受注が多くなる傾向があり、主力商品である輸入機械の多くが6ヵ月前後の納期であるため、売上が第4四半期に集中、増加する傾向にあります。

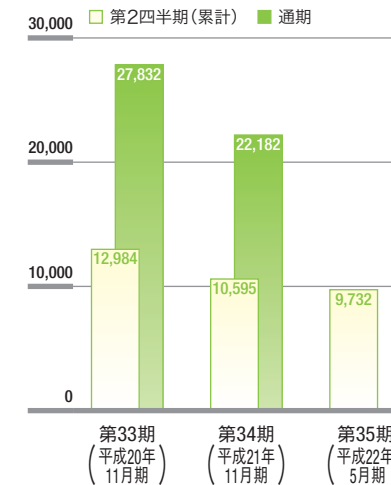
また、当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、16,837百万円と、前連結会計年度末比で5.9%、1,052百万円減少いたしました。これは主に、売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が1,034百万円減少したこと等により流動資産が1,093百万円減少したことによるものであります。

負債は、7,243百万円と、前連結会計年度末比で14.6%、1,239百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金等の減少により流動負債が907百万円減少したことに加え、長期借入金の返済等により固定負債が332百万円減少したことによるものであります。

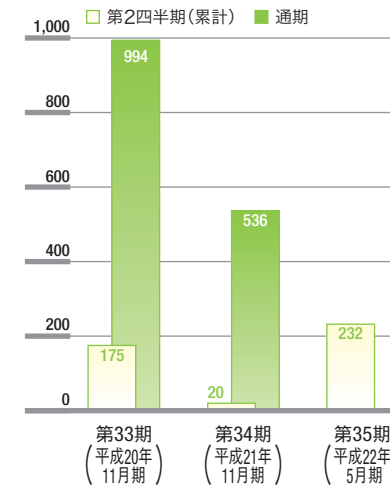
純資産は、9,594百万円と、前連結会計年度末比で2.0%、187百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

連結業績ハイライト

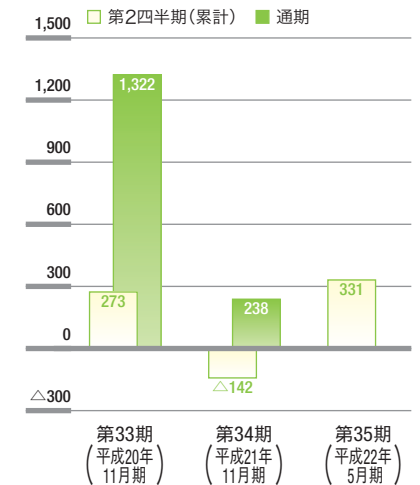
■ 売上高 (単位:百万円)



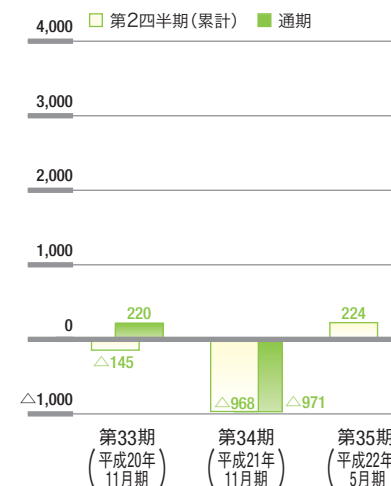
■ 営業損益 (単位:百万円)



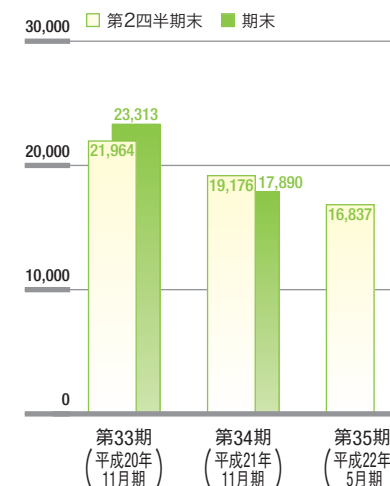
■ 経常損益 (単位:百万円)



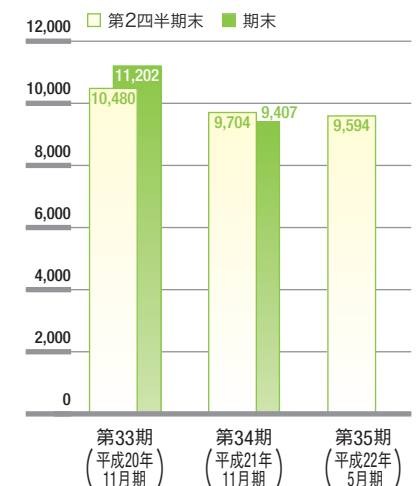
■ 当期純損益 (単位:百万円)



■ 総資産 (単位:百万円)



■ 純資産 (単位:百万円)



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

| | | (単位：千円) | | | |
|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 科 目 | 当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年5月31日現在) | 前連結会計 年度末 (要約) (平成21年11月30日現在) | 科 目 | 当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年5月31日現在) | 前連結会計 年度末 (要約) (平成21年11月30日現在) |
| 資産の部 | | | 負債の部 | | |
| 流動資産 | 8,600,053 | 9,693,878 | 流動負債 | 5,209,824 | 6,116,847 |
| 現金及び預金 | 2,653,412 | 2,925,297 | 支払手形及び買掛金 | 2,311,241 | 3,076,600 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,657,654 | 4,692,200 | 短期借入金 | 1,216,525 | 1,085,247 |
| 商品及び製品 | 1,146,763 | 918,447 | 未払法人税等 | 72,220 | 64,803 |
| 原材料及び貯蔵品 | 199,421 | 130,492 | 前受金 | 691,443 | 797,168 |
| 前渡金 | 704,534 | 599,862 | 繰延税金負債 | 1,170 | 3,351 |
| 繰延税金資産 | 14,607 | 23,372 | その他 | 917,222 | 1,089,676 |
| その他 | 238,301 | 431,283 | 固定負債 | 2,033,414 | 2,366,216 |
| 貸倒引当金 | △14,640 | △27,079 | 長期借入金 | 1,811,424 | 2,137,631 |
| 固定資産 | 8,237,886 | 8,196,768 | 役員退職慰労引当金 | 134,130 | 132,762 |
| 有形固定資産 | 5,883,316 | 5,878,774 | その他 | 87,859 | 95,822 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,726,358 | 1,725,977 | 負債合計 | 7,243,238 | 8,483,063 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,126,477 | 3,161,420 | 純資産の部 | | |
| 土地 | 80,479 | 80,479 | 株主資本 | 9,608,092 | 9,498,206 |
| リース資産(純額) | 138,597 | 129,208 | 資本金 | 5,527,829 | 5,527,829 |
| 建設仮勘定 | 123,780 | 37,100 | 資本剰余金 | 2,783,821 | 2,783,821 |
| その他(純額) | 687,622 | 744,588 | 利益剰余金 | 1,519,129 | 1,409,141 |
| 無形固定資産 | 177,519 | 183,150 | 自己株式 | △222,688 | △222,586 |
| ソフトウェア | 61,431 | 68,234 | 評価・換算差額等 | △175,999 | △237,473 |
| その他 | 116,088 | 114,916 | その他有価証券評価差額金 | △60,300 | △76,699 |
| 投資その他の資産 | 2,177,051 | 2,134,842 | 繰延ヘッジ損益 | △37,814 | △2,884 |
| 投資有価証券 | 316,090 | 295,866 | 為替換算調整勘定 | △77,883 | △157,889 |
| 関係会社出資金 | 1,051,830 | 967,545 | 少数株主持分 | 162,608 | 146,849 |
| 長期貸付金 | 35,000 | 35,000 | 純資産合計 | 9,594,701 | 9,407,582 |
| 敷金及び保証金 | 327,924 | 378,908 | 負債純資産合計 | 16,837,940 | 17,890,646 |
| 繰延税金資産 | 12,161 | 11,291 | | | |
| その他 | 964,301 | 993,816 | | | |
| 貸倒引当金 | △530,257 | △547,584 | | | |
| 資産合計 | 16,837,940 | 17,890,646 | | | |

■ 四半期連結損益計算書

| | | (単位：千円) | | | |
|-----------------------------------|--|--|-----------------------------------|--|--|
| 科 目 | 当第2四半期 連結累計期間 (平成21年12月1日から 平成22年5月31日まで) | 前第2四半期 連結累計期間 (平成20年12月1日から 平成21年5月31日まで) | 科 目 | 当第2四半期 連結累計期間 (平成21年12月1日から 平成22年5月31日まで) | 前第2四半期 連結累計期間 (平成20年12月1日から 平成21年5月31日まで) |
| 売上高 | 9,732,640 | 10,595,681 | 売上高 | 9,732,640 | 10,595,681 |
| 売上原価 | 7,892,083 | 8,895,830 | 売上原価 | 7,892,083 | 8,895,830 |
| 売上総利益 | 1,840,557 | 1,699,851 | 売上総利益 | 1,840,557 | 1,699,851 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,607,620 | 1,678,950 | 販売費及び一般管理費 | 1,607,620 | 1,678,950 |
| 営業利益 | 232,936 | 20,901 | 営業利益 | 232,936 | 20,901 |
| 営業外収益 | 247,791 | 58,878 | 営業外収益 | 247,791 | 58,878 |
| 営業外費用 | 149,574 | 222,372 | 営業外費用 | 149,574 | 222,372 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 331,153 | △142,592 | 経常利益又は経常損失(△) | 331,153 | △142,592 |
| 特別利益 | 13,287 | 22,148 | 特別利益 | 13,287 | 22,148 |
| 特別損失 | 20,830 | 703,679 | 特別損失 | 20,830 | 703,679 |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | 323,610 | △824,123 | 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | 323,610 | △824,123 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 77,769 | 23,859 | 法人税、住民税及び事業税 | 77,769 | 23,859 |
| 法人税等調整額 | △878 | 136,915 | 法人税等調整額 | △878 | 136,915 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 22,177 | △16,225 | 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 22,177 | △16,225 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 224,542 | △968,673 | 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 224,542 | △968,673 |

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | | (単位：千円) | | | |
|----------------------|--|--|----------------------|--|--|
| 科 目 | 当第2四半期 連結累計期間 (平成21年12月1日から 平成22年5月31日まで) | 前第2四半期 連結累計期間 (平成20年12月1日から 平成21年5月31日まで) | 科 目 | 当第2四半期 連結累計期間 (平成21年12月1日から 平成22年5月31日まで) | 前第2四半期 連結累計期間 (平成20年12月1日から 平成21年5月31日まで) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 250,105 | 98,066 | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 250,105 | 98,066 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △161,463 | △536,916 | 投資活動によるキャッシュ・フロー | △161,463 | △536,916 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △397,724 | △424,715 | 財務活動によるキャッシュ・フロー | △397,724 | △424,715 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 37,196 | △116,778 | 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 37,196 | △116,778 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少額) | △271,885 | △980,344 | 現金及び現金同等物の増減額(△は減少額) | △271,885 | △980,344 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,925,297 | 3,863,353 | 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,925,297 | 3,863,353 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,653,412 | 2,883,008 | 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,653,412 | 2,883,008 |

新しい取り組みのご紹介

上海万博において記念写真印刷サービスを提供

本年5月1日より10月31日まで半年間に亘り開催されている上海万国博覧会において、当社グループは、中国の大手国営企業である上海印刷（集団）有限公司が上海万博局から受注した一連の写真関連サービスに対し、主力の昇華型プリンターと、関連する資材、運営ノウハウ及び人材を提供しております。

記念写真サービスは、万博会場内8カ所で専用ブースを設置し、そのブース内で写真を撮影後、万博会場にある各国のパビリオンを背景にした合成写真を作成し、上海万博のマスコットである海宝（ハイバオ）等のキャラクターを配した台紙とともに記念写真を提供するものです。

当社グループでは、成長する中国市場において、今後も積極的に事業展開を行ってまいります。



中国のパビリオンを背景とした合成写真



立体的な台紙にセットした合成写真

軽量で高い操作性が特徴のICタグ検査・測定器

デジタル事業本部 情報マネジメント事業部 ICカード営業部では、ICタグ検査・測定器のラインアップにフィンランドVoyantic社製の機器を投入し、販売しています。

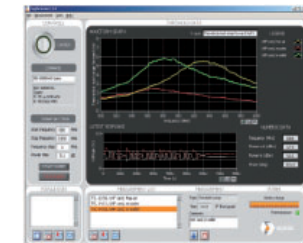
これは、UHF帯の電波を用いるICタグ用の検査・測定器です。この種のICタグは、繊維・ダンボール・樹脂・金属等さまざまな素材に貼り付けられているものですが、ICタグを加工する素材や貼り付ける素材によって周波数特性（ICタグの性能）が変化する性質があります。

このVoyantic社製の機器をICタグ試作の過程で使えば、状況・用途に応じたICタグの素材や貼り付ける素材の選定が可能となるため、リーダライタ（読取機）と都度交信して確認する必要がなく、非常にスピーディーに開発を行うことができます。そして、特筆すべきは、約4kgという軽さと、PC上で目的別専用ソフトウェアを用いるという仕様により、ICタグにエラーが発生した場合にも現場に持ち込んで測定しすぐに原因を解明し問題の対策を行うことができる、ICタグの品質検査（インライン/オフライン）にも使用できる、などといった他には見られない操作性・機能性を持っていることです。

RFID（Radio Frequency IDentification、電波を利用した認証技術）の技術は、業界では利用方法を模索中の段階ということもあり、検査機器等のニーズが多いです。アルテックは、今後も、ICタグインレイ製造会社、ICタグ加工会社、RFIDリーダライタメーカー、システムインテグレーター、RFID使用エンドユーザー、研究機関（大学）に向けて本装置を紹介してまいります。



測定器一式



測定ソフトウェア画面例

会社の概要

■ 会社の概要 (平成22年5月31日現在)

商号 アルテック株式会社
 設立年月日 昭和51年5月15日
 資本金 5,527,829千円
 従業員数 155名 (グループ全体622名)
 所在地 東京都新宿区荒木町13番地4
 住友不動産四谷ビル

■ 役員 (平成22年5月31日現在)

取締役会長 加 畑 洋
 代表取締役社長 張 能 徳 博
 取締役兼専務執行役員 梅 木 義 則
 取締役兼専務執行役員 瀧 川 賢 一
 取締役兼執行役員 木 根 洸 明
 社外取締役 中 尾 光 成
 社外取締役 富 永 宏
 常勤監査役 千 歳 和 秀
 社外監査役 今 中 幸 男
 社外監査役 越 智 俊 典
 社外監査役 平 岡 繁

執行役員 星 野 幸 広
 執行役員 嶋 啓 明
 執行役員 大 石 善 教

■ 事業別グループ会社 (平成22年5月31日現在)

| 事業区分等 | 会社名 |
|-------------|--|
| 卸売事業 | |
| 産業機械・機器分野 | アルテック株式会社 |
| | アルテック・エンジニアリング株式会社 |
| | 愛而泰可貿易 (上海) 有限公司 |
| | ALTECH ASIA PACIFIC CO.,LTD. エスコグラフィックス株式会社 |
| 産業資材分野 | アルテック株式会社 |
| メディアパッケージ分野 | アルテック株式会社 |
| その他の分野 | アルテック株式会社 |
| | アルテックアイティ株式会社 |
| 製造事業 | |
| 食品・飲料容器分野 | 愛而泰可新材料 (蘇州) 有限公司 |
| | 愛而泰可新材料 (広州) 有限公司 |
| | PT. ALTECH |
| | 愛而泰可新材料 (深圳) 有限公司 |
| その他の分野 | アルパレット株式会社 |

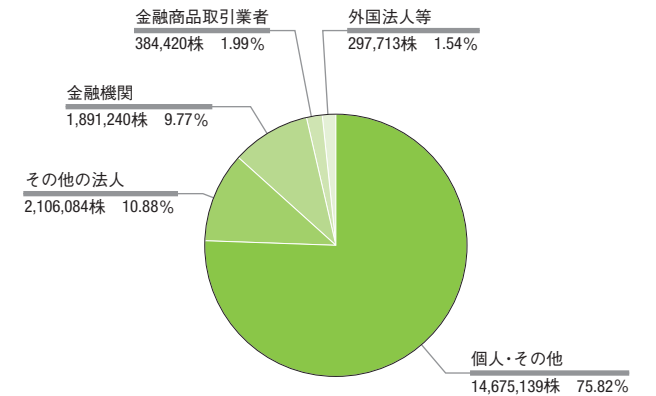
株式の状況

■ 株式の状況 (平成22年5月31日現在)

| | | |
|----------|-------------------------------|-----------------|
| 発行可能株式総数 | 40,000,000株 | |
| 発行済株式の総数 | 19,354,596株 | |
| 株主数 | 5,417名 | |
| 大株主 | 株主名 | 持株数 持株比率 |
| | | 株 % |
| | フェニックス・キャピタル・パートナーズ・スリー投資事業組合 | 8,797,700 46.08 |
| | 竹内エムアンドティ株式会社 | 900,000 4.71 |
| | 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 505,920 2.64 |
| | 由利和久 | 500,276 2.62 |
| | 株式会社アルミネ | 391,000 2.04 |
| | 村永八千代 | 387,076 2.02 |
| | 大和証券キャピタル・マーケット株式会社 | 218,400 1.14 |
| | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 195,200 1.02 |
| | 東京センチュリーリース株式会社 | 151,904 0.79 |
| | 日本証券金融株式会社 | 150,200 0.78 |

(注) 1. 当社は、自己株式262,499株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 2. 持株比率は、自己株式262,499株を控除して計算しております。

所有者別分布状況



WEBサイトのご案内

<http://www.altech.co.jp/>

アルテック株式会社の最新の情報を掲載しています。

株主メモ

| | |
|--------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年12月1日から翌年11月30日まで |
| 定時株主総会 | 2月 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 11月30日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 5月31日（中間配当を実施する場合） |
| 株主名簿管理人 （特別口座の口座管理機関） | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 （郵便物送付先） | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料） |
| 公告の方法 | 電子公告により当社のホームページ （ http://www.altech.co.jp/ ）に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 |

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

アルテック株式会社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町13番地4 住友不動産四谷ビル
tel ☎ 03-5363-0925 ホームページ ☎ <http://www.altech.co.jp/>



この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と大豆油インキを使用しています。